

第2学年 音楽科 学習指導案

日 時 平成29年11月27日(月)

学 級 2年C組(男子13名 女子17名 計30名)

授業者 教 諭 綱川 美代子

1 題材名

旋律や強弱の変化を手がかりに曲にふさわしい表現を工夫して歌おう
～校歌で引き継ぐ関中の伝統～

2 題材について

(1) 題材について

本題材の学習は、学習指導要領〔第2学年及び第3学年〕の内容A表現(1)ア「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。」「[共通事項](1)アの速度、旋律、強弱について扱い、曲にふさわしい表現を工夫して歌う能力を高めることをねらいとしている。

本校の校歌は、まだ校歌がない時代に保護者の皆様が、当時最高の作詞者と作曲者をお願いして、日本一の校歌を制定しようと、北原白秋から知遇を得ていた大木惇夫先生に作詞を、「赤とんぼ」「待ちぼうけ」等の作曲者として知られる山田耕筰先生に作曲を依頼し、昭和24年10月11日に制定された。校歌としては珍しい8分の6拍子の流麗な旋律となっており、フレーズごとに強弱の変化が盛り込まれている。また、速度は♩=50~63と幅広く、拍の捉えもquasi2/4と示されている。2/4拍子のように拍を感じ取ることができるので、生徒にとってリズムに乗って歌いやすい曲になっている。校歌には、「生徒がいつまでも忘れず、誇りとし、心を結ぶ校歌がなければならない」という当時の校長先生をはじめ、すべての先生方、保護者の願いが込められている。

12月9日には創立70周年記念式典行事も執り行われることから、この機会に校歌の偉大さや魅力を再確認し、関中の伝統を校歌で引き継いでいきたいと考えこの教材を選んだ。

(2) 生徒について

本学級の生徒は、音楽表現活動にとっても意欲的である。2年生では、「夏の思い出」の学習を通して、歌詞と音楽を形づくっている旋律と強弱の密接なかかわりによって生み出される曲の雰囲気や美しさについて学習した。また、「サンタ ルチア」では、はじめてのカンツォーネに挑戦し、イタリア語の特性を生かしながら、温暖なナポリ地方の明るい声と巻き舌を使った表現の工夫をする学習を行った。これらの学習を通して表現の工夫の幅が広がってきているが、自分の声を通して感情や詩の思いを伝えるということは表現が不十分と言える。本題材を通して、歌詞と旋律、強弱の変化を手がかりに曲にふさわしい表現を工夫する力を高めていきたい。

(3) 指導について

題材構成の中に、「気づく・味わう・感じる」「考える」「表現する」時間を設定し、本校研究とのかかわりをふまえながら、次の3点に留意して指導する。

【研究主題】 「考える力」を身に付けた生徒の育成 ～思考を揺さぶる場の工夫を通して～

一つ目として、理由付けされた表現活動を行う場面を設定する。

生徒が旋律や強弱の変化を手がかりに、校歌への愛着や歌詞への思いを感じながら表現活動をさせたい。

二つ目として、思考を揺さぶるために「思考のすべ」を用いる場面を設定する。

これまでに歌ってきた校歌と旋律や強弱の変化を手がかりにして歌った校歌を比較し、「思考のすべ」を用いて曲にふさわしい表現活動をさせたい。

三つ目として、表現する活動を積極的に取り入れる。

作曲者と当時の校長先生や先生方の思い、さらに当時の保護者の願いを感じ取って、旋律や強弱の変化を手がかりに曲にふさわしい表現を工夫させたい。

3 題材の目標

音楽への 関心・意欲・態度	「一関中学校校歌」の歌詞と旋律，強弱とのかかわりを感じ取って，思いや意図をもって音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組んでいる。
音楽表現の創意工夫	「一関中学校校歌」の歌詞と旋律，強弱とのかかわりを知覚し，それらを手がかりに曲のよさや雰囲気を感じながら，曲にふさわしい音楽表現を創意工夫し，どのように歌うか思いや意図をもっている。
音楽表現の技能	「一関中学校校歌」の歌詞と旋律，強弱とのかかわりを感じとって，それらを手がかりに曲にふさわしい音楽表現を工夫するために必要な言葉の発音を生かした技能を身に付けて歌っている。

4 題材の指導計画及び評価規準（4時間）

【題材テーマ】 旋律や強弱の変化を手がかりに曲にふさわしい表現を工夫して歌うあり方を学ぶ。

時 数	学習 内容	指導内容	時 間	評 価			
				関	創	技	評価規準
1 2	校歌で引き継ぐ関中の伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・作詞，作曲者について学ぶ。校歌がつけられた背景と当時の校長先生，先生方の思いや保護者の願いを知る。 ・歌詞について考える。古典の言い表し方でつけられている校歌の歌詞を現代語訳にしたものと比較し，現在歌っている歌詞への思いを深める。 	気 づ く	○			<ul style="list-style-type: none"> ・作詞，作曲者の校歌をつくられた情景や心情，当時の校長先生，先生方の思い，保護者の願いを感じとろうとしている。 ・古典の言い表し方と現代語訳にした歌詞を比較しながら，違いや味わいを感じ取り，歌詞に対する思いを深めようとしている。
3		<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞や旋律，強弱の変化を知覚し曲のよさや雰囲気を感じ取る。 ・曲にふさわしい表現の工夫を考える。 ・どのように歌うか思いや意図をもつ。 	感 じ る				○
4		<ul style="list-style-type: none"> ・「校歌」の歌詞や曲想を生かすための歌い方を追求する。 ・思いや意図をもって「校歌」を歌う。 ・題材（テーマ）における振り返りを行う。 	表 現 す る	○	○		

5 本時の指導

(1) 目標

「一関中学校校歌」の歌詞と旋律、強弱の変化を手がかりに、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。

(2) 評価規準

観 点	評 価 規 準
音楽表現の 創意工夫	歌詞と旋律、強弱とのかかわりを知覚し、それらの働きが生み出す曲の雰囲気を感じしながら、曲にふさわしい表現を創意工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

(3) 本時の学習内容と研究とのかかわり

ア理由付けされた表現活動

生徒が既習事項をもとに理由付けしながら表現活動をできるように指導を行う。

イ「思考のすべ」を活用した授業展開

前時で歌唱した音源を聞き、どのような点に気をつけて歌えばよいか課題を意識し「関係付け」する。そこから、旋律や強弱の変化を手がかりに表現を工夫し「比較」して、どのような思いや意図で校歌を歌唱したらよいか「理由付け」する。

(4) 展開

段 階	学習活動 (○活動内容 ・ 生徒の反応)	形態	指導上の工夫及び留意点	評価
導 入 10 分	1 学習課題を設定する。 ○前時の学習内容を確認する。 ○歌唱した音源を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・強弱が楽譜通りにできていない。 ・言葉が伝わるように歌えていない。 </div> ○学習課題をたてる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [旋律と強弱] を手がかりに、関中校歌にふさわしい表現を工夫しよう。 </div>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 前時に学習した校歌がつけられた背景と当時の校長先生、先生方の思いや保護者の願いについて振りかえる。 校歌の歌詞と現代語訳した歌詞を比べた紙板書を掲示し歌詞の味わいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【思考のすべ】 関係付け 【教師の発問】 前時に歌った校歌の音源を聴いてどうですか？ どのような点に気をつけて歌うと校歌の歌詞が伝わるか考えてみよう。 </div>	発言 【創】 発言
	2 見通しをもつ ○手がかりのポイントを旋律と強弱にすることを意識する。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 手がかりを楽譜の中から見つけさせるよう意識させる。(拡大楽譜の掲示) 学習課題の [] に旋律と強弱と書き入れる。 	

展 開	3 歌詞と旋律，強弱のかかわりについて知覚する。 ○楽譜の中の旋律の動き，強弱記号を捉える。 ○気づいたことを発表する。 ・強弱の変化が多い。 ・言葉の始まりはどれもアフタクトになっている。	個人	・楽譜に注目して，旋律の特徴・強弱について捉えさせる。 ・旋律，強弱について知覚したことを学習プリントに記入させる。 ・旋律を歌唱し，校歌の歌詞や強弱の変化を感じさせる。	記述
	4 課題にせまるには，どのような表現の工夫をすればよいか歌いながら試してみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・細やかに強弱がついているので，言葉を意識するようにした。 ・6/8 拍子にのせて強弱に変化をつけて歌った。 </div>	一斉 個人	・旋律と強弱の変化を手がかりに試行錯誤しながら歌ってみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考のすべ】比較 【教師の発問】 前時に歌った校歌と比較し，どのような点に気をつけて歌いましたか。</p> </div>	歌唱 【創】 記述 発言
ま と め	4 課題をまとめる ○歌詞を味わいながら，思いをもって歌唱する。(録音) ○当時，作曲者に直接会われた先生のメッセージを紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・作曲者や当時の先生方，保護者の願いを感じて歌いたい。 ・歌詞に思いを込めて歌いたい。 ・70年の歴史を感じながら歌いたい。 </div> ○次時の予告をする	一斉	・歌詞と旋律，強弱に意識しながら思いをもって歌唱させる。 ・当時，作曲者に直接会われた先生が感じたことや思いを感じさせたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考のすべ】理由付け 【教師の発問】 学習した内容から，どのような思いや意図をもって歌唱したいですか。</p> </div>	歌唱 発言
30 分				
10 分				

(5)板書計画

11/27 (月) 学習課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> []を手がかりに，関中校歌にふさわしい表現を工夫しよう。 </div> 大木惇夫・山田耕筰人物画 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; min-height: 150px;"> 旋律の拡大楽譜 </div>
---	---

